

平成 29 年度嶺北地域アクションプランの追加、削除、拡充等（予定項目）について

# 嶺北地域アクションプラン項目（第3期計画（H28年度）と第3

No.	平成28年度	本 山 町	大 豊 町	土 佐 町	大 川 村
		17	18	17	14
1	れいほくブランドの園芸産地の維持	●	●	●	●
2	JA出資型法人((株)れいほく未来)を核とする地域活性化の取組	●	●	●	●
3	ユズ産地の確立と加工・販売の促進	●	●	●	
4	天空の郷ブランドによる地域活性化の取組	●			
5	(株)大豊ゆとりファームを核として地域資源の活用により地域産業を持続化させる取組		●		
6	土佐あかうしの競争力の確保による肉用牛産業の再興	●	●	●	
7	土佐はちきん地鶏・大川黒牛を活用した畜産業の活性化				●
8	嶺北地域における林業クラスター化の取組	●	●	●	●
9	れいほくスケルトン(嶺北材の邸別販売)の促進及び建築人材の育成	●	●	●	●
10	特用林産物(シキミ、サカキ)の販売促進	●	●	●	●
11	嶺北の山林をフィールドとした「森の教習所」による担い手育成の取組			●	
12	嶺北地域の特産品販路拡大への支援	●	●	●	●
13	クラウドファンディングを活用した地域活性化	●	●	●	●
14	ばうむ合同会社による地域資源(木材・米)活用の取組	●			
15	基石茶を中心とした加工品ビジネスの展開		●		
16	嶺北材を活かしたオリジナル木工品の製造・販売による地域活性化			●	
17	嶺北地域の連携による交流人口の拡大	●	●	●	●
18	嶺北広域観光アウトドアの里づくり	●	●	●	●
19	嶺北地域における山岳観光の拠点整備	●	●	●	●
20	さめうら湖の活用をはじめとしたスポーツ・ツーリズムの振興	●	●	●	●
21	嶺北地域の連携による移住促進の取組	●	●	●	●
22	学生・若者と地域の連携による事業創出支援プラットフォーム「ONEれいほく」の構築	●	●	●	●
23	大豊町西峯地区におけるビジネス創出による地域活性化の取組		●		

# 期計画Ver. 2 (H29年度) の対比表

【嶺北地域】

本 山 町	大 豊 町	土 佐 町	大 川 村	No.	平成29年度
					17
●	●	●	●	1	れいほくブランドの園芸産地の維持
●	●	●	●	2	JA出資型法人((株)れいほく未来)を核とする地域活性化の取組
●	●	●		3	ユズ産地の確立と加工・販売の促進
●				4	天空の郷ブランドによる地域活性化の取組
	●			5	(株)大豊ゆとりファームを核として地域資源の活用により地域産業を持続化させる取組
●	●	●		6	土佐あかうしの競争力の確保による肉用牛産業の再興
			●	7	土佐はちきん地鶏・大川黒牛を活用した畜産業の活性化
●	●	●	●	8	嶺北地域における林業クラスター化の取組
●	●	●	●	9	れいほくスケルトン(嶺北材の邸別販売)の促進及び建築人材の育成
●	●	●	●	10	特用林産物(シキミ、サカキ)の販売促進
		●		11	嶺北の山林をフィールドとした「森の教習所」による担い手育成の取組
●	●	●	●	12	嶺北地域の特産品販路拡大への支援
●	●	●	●	13	クラウドファンディングを活用した地域活性化
●				14	ぼうむ合同会社による地域資源(木材・米)活用の取組
	●			15	碁石茶を中心とした加工品ビジネスの展開
		●		16	嶺北材を活かしたオリジナル木工品の製造・販売による地域活性化
●	●	●	●	17	嶺北地域の連携による交流人口の拡大
●	●	●	●	18	嶺北広域観光アウトドアの里づくり
●	●	●	●	19	嶺北地域における山岳観光の拠点整備
●	●	●	●	20	さめうら湖の活用をはじめとしたスポーツ・ツーリズムの振興
●	●	●	●	21	嶺北地域の連携による移住促進の取組
●	●	●	●	22	学生・若者と地域の連携による事業創出支援プラットフォーム「ONEれいほく」の構築
	●			23	大豊町西峯地区におけるビジネス創出による地域活性化の取組



嶺北地域アクションプランの追加・削除・拡充等（予定項目）

■追加 なし

■削除 なし

■その他(拡充等) なし

修正項目(案)

【嶺北地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
8 嶺北地域における林業ク ラスタ化の取組 《嶺北地域全域》	嶺北地域の豊かな森林資源を 活かし、間伐から素材生 産、製材・加工を業約したク ラスタ化を図ることにより、 林業での地域活性化を目指 す。	・森林所有者 ・自伐林家 ・森林組合 ・素材生産事業体 ・高知おおとよ製材 (株) ・大豊町 ・本山町 ・土佐町 ・大川村	アクションプランの取組開始：H21 <木材生産・供給システム> ・森の工場の推進(H21～27) 18工場(3,515.30ha) ・林業事業体の育成(H21～27) ・林業の担い手の育成確保(H21～ 27) ◆林業の担い手の減少や木材製 品販売の低迷などにより、第2期計 画ではH27末の目標に達しなかつ たが、大型製材工場の本格稼働に 伴い、木材の安定供給を図る必要 があるため、搬出(利用)間伐を通 じて更なる森林整備の推進が期待 される。  <大型製材工場> ・大型製材工場の誘致(H21～25) ◆誘致先企業と具体的な誘致交渉 の結果、H23.9月に大豊町への進 出協定の締結が実現した。 ◆造成工事等を経てH25.8月操業 開始した。 ・生産体制の確立(H25～27) ◆計画に従い、生産量、人員体制 等の拡充を実施した。	<木材生産・供給システ ム> ・搬出間伐の生産性向上 ・皆伐事業地の拡大に伴 う再造林の推進  ・林業事業体の体質強化 ・林業従事者及び担い手 の育成確保  ・原木の安定供給体制 の構築  <大型製材工場> ・フル生産に向けた原木 の安定供給(高知おおと よ製材(株))	◆安定的な木材生産・ 供給システムの構築  ◆再造林の推進  ◆ストックヤードの整備 による原木の供給体制 づくり  ◆木質バイオマス発電 施設等の導入検討  ◆製材品等の生産

修正前



【嶺北地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
8 嶺北地域における林業ク ラスタ化の取組 《嶺北地域全域》	嶺北地域の豊かな森林資源を 活かし、間伐から素材生 産、製材・加工を業約したク ラスタ化を図ることにより、 林業での地域活性化を目指 す。	・森林所有者 ・自伐林家 ・森林組合 ・素材生産事業体 ・高知おおとよ製材 (株) ・嶺北広域原木安 定供給協議会 ・大豊町 ・本山町 ・土佐町 ・大川村	アクションプランの取組開始： H21 <木材生産・供給システム> ・森の工場の推進(H21～28) 37工場(3,773.48ha) ・林業事業体の育成(H21～28) ・林業の担い手の育成確保(H21 ～28) ◆林業の担い手の減少や木材 製品販売の低迷などにより、第2 期計画ではH27末の目標に達し なかつたが、大型製材工場の本 格稼働に伴い、木材の安定供給 を図る必要があるため、搬出(利 用)間伐を通して更なる森林整備 の推進が期待される。  <大型製材工場> ・大型製材工場の誘致(H21～ 25) ◆誘致先企業と具体的な誘致交 渉の結果、H23.9月に大豊町へ の進出協定の締結が実現した。 ◆造成工事等を経てH25.8月操 業開始した。 ・生産体制の確立(H25～28) ◆計画に従い、生産量、人員体 制等の拡充を実施した。	<木材生産・供給システ ム> ・搬出間伐の生産性向上 ・皆伐事業地の拡大に伴 う再造林の推進  ・林業事業体の体質強化 ・林業従事者及び担い手 の育成確保  ・原木の安定供給体制 の構築  <大型製材工場> ・フル生産に向けた原木 の安定供給(高知おおと よ製材(株))	◆安定的な木材生産・ 供給システムの構築  ◆再造林の推進  ◆ストックヤードの整備 による原木の供給体制 づくり  ◆木質バイオマス発電 施設等の導入検討  ◆製材品等の生産

修正後

第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
<b>安定的な木材生産・供給システムの構築</b> 原木生産体制の強化(間伐・皆伐の推進、木材生産・供給システムの構築、C材の安定供給) 林業事業者の育成、林業の担い手の育成確保					木材生産量 (H19: 76,404m <sup>3</sup> ) (H22: 56,464m <sup>3</sup> ) (H26: 98,515m <sup>3</sup> )	130,000 m <sup>3</sup>	
<b>再造林の推進</b> 皆伐施業地の拡大に伴い、再造林の補助制度を活用した伐採跡地の更新							
<b>ストックヤードの整備による原木の供給体制づくり</b> 造成工事(大豊町) スtockヤード施設整備(大豊町)							
<b>木質バイオマス発電施設等の導入検討</b> 木質バイオマス発電施設等の導入に向けた調査・検討・誘致(大豊町)							
<b>製材品等の生産</b> フル生産 健全運営 CLTパネル工場の整備検討							



第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
<b>安定的な木材生産・供給システムの構築</b> 原木生産体制の強化(間伐・皆伐の推進、木材生産・供給システムの構築、C材の安定供給) 林業事業者の育成、林業の担い手の育成確保					木材生産量 (H19: 76,404m <sup>3</sup> ) (H22: 56,464m <sup>3</sup> ) (H26: 98,515m <sup>3</sup> )	130,000 m <sup>3</sup>	
<b>再造林の推進</b> 皆伐施業地の拡大に伴い、再造林の補助制度を活用した伐採跡地の更新							
<b>ストックヤードの整備による原木の供給体制づくり</b> 造成工事(大豊町) スtockヤード施設整備(大豊町)							
<b>木質バイオマス発電施設等の導入検討</b> 木質バイオマス発電施設等の導入に向けた調査・検討・誘致(大豊町)							
<b>製材品等の生産</b> フル生産 健全運営 CLTパネル工場の整備検討							

修正項目(案)

【嶺北地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
<p>9 れいほくスケルトン(嶺北材の郵別販売)の促進及び建築人材の育成</p> <p>《嶺北地域全域》</p> <p style="text-align: center;">修正前</p>	<p>れいほくスケルトン(嶺北材の郵別販売)の促進に向けた取組により、嶺北材の販路拡大を図る。</p>	<p>・(株)SUN SHOW ・レイホク木材工業(協) ・吉野川リビング(協) ・本山町 ・土佐町</p>	<p>アクションプランの取組開始:H21 ・企画・品質管理(H21~23) ・販売先との連携(H21~23) ・PR活動(H21~27) ◆四国島内を中心とする郵別販売実施により1,844㎡(H24~26合計)の嶺北材が出荷できた。</p>	<p>・嶺北材の販路拡大 ・エンドユーザーへの木の良さのPR強化 ・建築士等との連携</p>	<p>◆販売促進</p> <p>◆エンドユーザーへのPR活動</p> <p>◆「木」について学ぶセミナー等の開催</p>



【嶺北地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
<p>9 れいほくスケルトン(嶺北材の郵別販売)の促進及び建築人材の育成</p> <p>《嶺北地域全域》</p> <p style="text-align: center;">修正後</p>	<p>れいほくスケルトン(嶺北材の郵別販売)の促進に向けた取組により、嶺北材の販路拡大を図る。</p>	<p>・(株)SUN SHOW ・レイホク木材工業(協) ・吉野川リビング(協) ・木がつなく森と人の未来協議会(れいほくスケルトン) ・本山町 ・土佐町</p>	<p>アクションプランの取組開始:H21 ・企画・品質管理(H21~23) ・販売先との連携(H21~23) ・PR活動(H21~28) ・「木がつなく森と人の未来協議会(れいほくスケルトン)設立(H28) ・地域材の特性や木造住宅のメリット等について学ぶセミナーの開催(H28) ◆四国島内を中心とする郵別販売実施により3,036㎡(H24~27合計)の嶺北材が出荷できた。</p>	<p>・嶺北材の販路拡大 ・エンドユーザーへの木の良さのPR強化 ・建築士等との連携</p>	<p>◆販売促進</p> <p>◆エンドユーザーへのPR活動</p> <p>◆「木」について学ぶセミナー等の開催</p>






第3期計画					指標及び目標		
H28	H29	H30	H31	H32以降	指標	目標値(H31)	
販売促進	主に四国島内における営業活動の展開				→	木材の出荷量 (H26: 744m <sup>3</sup> )	2,000m <sup>3</sup>
エンドユーザーへのPR活動	れいほくスケルトンのPR活動						
「木」について学ぶセミナー等の開催 開催手法等の検討	セミナー等の開催						





第3期計画					指標及び目標		
H28	H29	H30	H31	H32以降	指標	目標値(H31)	
販売促進	主に四国島内における営業活動の展開				→	木材の出荷量 (H26: 744m <sup>3</sup> )	2,000m <sup>3</sup>
エンドユーザーへのPR活動	れいほくスケルトンのPR活動						
「木」について学ぶセミナー等の開催 開催手法等の検討	セミナー等の開催						



第3期計画					指標及び目標		
H28	H29	H30	H31	H32以降	指標	目標値(H31)	
県外飲食店との農産物の直接販売 システム(集荷、出荷、受発注管理(電子)、マネジメント組織)構築	集出荷・取引強化					・県外飲食店等との直接取引による販売額 (H27:0円)	85,200千円
	新たな販路開拓、PR活動						
特産品のネット販売	サイト運営(商品見直し、サイト改善、SNSを活用したPR活動)						
ポータルサイトの定着・広報・販売促進	ポータルサイト「土佐さめうらe商店街」の定着(随時、運営体制の検証・改善)					ポータルサイト年間売上高 (H24:391千円) (H26:564千円)	1,200千円
	掲載商品(セット商品を含む)の検証・改善						



第3期計画					指標及び目標		
H28	H29	H30	H31	H32以降	指標	目標値(H31)	
県外飲食店との農産物の直接販売 システム(集荷、出荷、受発注管理(電子)、マネジメント組織)構築	集出荷・取引強化					・県外飲食店等との直接取引による販売額 (H27:0円)	85,200千円
	新たな販路開拓、PR活動						
ポータルサイトの定着・広報・販売促進	ポータルサイト「土佐さめうらe商店街」の定着(随時、運営体制の検証・改善)					ポータルサイト年間売上高 (H24:391千円) (H26:564千円)	1,200千円
	掲載商品(セット商品を含む)の検証・改善						

修正項目(案)

【嶺北地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
15 碁石茶を中心とした加工品ビジネスの展開 《大豊町》	高知県大豊町で生産される日本で唯一の微生物発酵茶「碁石茶」の需要拡大に取り組み、400余年継承される製造技術の伝承と農家所得の向上を図る。	・大豊町碁石茶協同組合 ・(株)大豊ゆとりファーム ・大豊町	アクションプランの取組開始・H21加工品づくりビジネスの展開(H21～23) ・碁石茶を中心とした加工品ビジネスの展開(H24～27) ◆H26.12月末時点までは、過年度の在庫を大量に持つ状況が続き、H24～26は生産調整せざるを得ないなど、厳しい状況であった。 この間、カートカンやティーバックなど入口商品の開発を行い、地道な販促活動を行うことで、主に関東圏での取引先が徐々に増え、全国に商流を持つ食品卸業者との取引も開始された。H27.3月に全国放送のテレビ番組に取り上げられたことから、一気に知名度が向上し、注文が殺到、過年度在庫の課題は一掃された。	・新規生産者の育成・確保 ・原材料となる茶葉(茶園)の確保 ・販路の維持・拡大 ・機能性表示等の活用による付加価値の向上	◆碁石茶を中心とした加工品ビジネスの展開
修正前					



【嶺北地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
15 碁石茶を中心とした加工品ビジネスの展開 《大豊町》	高知県大豊町で生産される日本で唯一の微生物発酵茶「碁石茶」の需要拡大に取り組み、400余年継承される製造技術の伝承と農家所得の向上を図る。	・大豊町碁石茶協同組合 ・(株)大豊ゆとりファーム ・大豊町	アクションプランの取組開始・H21加工品づくりビジネスの展開(H21～23) ・碁石茶を中心とした加工品ビジネスの展開(H24～28) ・碁石茶製造アルバイトの導入(H28) ・機能性表示に向けた臨床試験の実施(H28) ◆H26.12月末時点までは、過年度の在庫を大量に持つ状況が続き、H24～26は生産調整せざるを得ないなど、厳しい状況であった。 この間、カートカンやティーバックなど入口商品の開発を行い、地道な販促活動を行うことで、主に関東圏での取引先が徐々に増え、全国に商流を持つ食品卸業者との取引も開始された。H27.3月に全国放送のテレビ番組に取り上げられたことから、一気に知名度が向上し、注文が殺到、過年度在庫の課題は一掃された。 H28は生産量を確保するための新たな取組として、碁石茶の生産体験を兼ねたアルバイトを導入したところ、多くの参加者があり、移住にもつながってきている。	・新規生産者の育成・確保 ・原材料となる茶葉(茶園)の確保 ・販路の維持・拡大 ・機能性表示等の活用による付加価値の向上	◆碁石茶を中心とした加工品ビジネスの展開
修正後					

第3期計画					指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	H32以降	指標	目標値(H31)
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">           碁石茶を中心とした加工品ビジネスの展開         </div>					碁石茶関連商品の総販売額 (H19: 0.1億円) (H22: 0.2億円) (H26: 0.1億円)	0.6億円
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">           新規生産者(組合員)の育成・確保         </div>						
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">           原材料となる茶葉(茶園)の確保         </div>						
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">           碁石茶製造施設の整備         </div>		<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">           共同利用による生産拡大、OJT         </div>				
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">           商品開発、PR活動、販路拡大         </div>						
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">           機能性表示等への対応(臨床試験などデータの蓄積)         </div>						



第3期計画					指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	H32以降	指標	目標値(H31)
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">           碁石茶を中心とした加工品ビジネスの展開         </div>					碁石茶関連商品の総販売額 (H19: 0.1億円) (H22: 0.2億円) (H26: 0.1億円)	0.6億円
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">           新規生産者(組合員)の育成・確保         </div>						
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">           原材料となる茶葉(茶園)の確保         </div>						
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">           碁石茶製造施設の整備         </div>		<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">           共同利用による生産拡大、OJT         </div>				
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">           商品開発、PR活動、販路拡大         </div>						
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">           機能性表示等への対応(臨床試験などデータの蓄積)         </div>						

修正項目(案)






【嶺北地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
18 嶺北広域観光アウトドアの里づくり 《嶺北地域全域》	嶺北地域の豊かな自然を活かし、全国ブランドを有する企業の監修によるアウトドア拠点施設を整備し、広域観光の推進につなげる。	・本山町 ・大豊町 ・土佐町 ・大川村 ・本山町白髪山・工石山保全活用推進協議会	アクションプランの取組開始：H28		◆拠点施設の整備・運営  ◆誘客の促進  ◆受入体制(白髪山・工石山)の整備(ハード)  ◆受入体制(白髪山・工石山)の整備(ソフト)  ◆観光客(白髪山・工石山)の誘致
修正前					








【嶺北地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
18 嶺北広域観光アウトドアの里づくり 《嶺北地域全域》	嶺北地域の豊かな自然を活かし、全国ブランドを有する企業の監修によるアウトドア拠点施設を整備し、広域観光の推進につなげる。	・本山町 ・大豊町 ・土佐町 ・大川村 ・本山町白髪山・工石山保全活用推進協議会	アクションプランの取組開始：H28 ・アウトドア拠点の整備に向けた基本計画の策定及び実施設計の策定開始(H28) ・カー、ラフティング、山岳等アウトドアインストラクター養成の実施(H28) ◆インストラクター等の人材育成が着実に進んでいる。	・アウトドア拠点施設整備に向けた管理・運営体制等の検討  ＜白髪山・工石山＞ ・天然記念物としての保護、観光客に配慮したハード面の整備 ・ガイドの確保	◆拠点施設の整備・運営  ◆誘客の促進  ◆受入体制(白髪山・工石山)の整備(ハード)  ◆受入体制(白髪山・工石山)の整備(ソフト)  ◆観光客(白髪山・工石山)の誘致
修正後					

第3期計画					指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	H32以降	指標	目標値(H31)
					アウトドア拠点施設の利用者数 (H27:0人)	50,000人
拠点施設の整備・運営 施設実施設計、施設整備工事 管理運営方法の検討、決定 体験インストラクターの育成 拠点施設の運営、インストラクターの養成						
						
誘客の促進 ・新たな体験プログラムの開発、磨き上げ ・4町村での連携方策の検討、実践 ・旅行会社等へのセールス・プロモーション活動、地域情報も含めた情報発信						
					白髪山・工石山への 観光客数 (H24~26累計:58人)	200人 (H28~31累計)
受入体制(白髪山・工石山)の整備(ハード) ベンチ・案内版等の補修						
						
ガイドの養成研修・スキルアップ研修の実施						
					白髪山・工石山観光のPR	
民間企業と連携した誘客						



第3期計画					指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	H32以降	指標	目標値(H31)
					アウトドア拠点施設の利用者数 (H27:0人)	50,000人
拠点施設の整備・運営 施設実施設計、施設整備工事 管理運営方法の検討、決定 体験インストラクターの育成 カヌー指導者の招致 カヌー人材の育成 拠点施設の運営、インストラクターの養成						
						
誘客の促進 ・新たな体験プログラムの開発、磨き上げ ・4町村での連携方策の検討、実践 ・旅行会社等へのセールス・プロモーション活動、地域情報も含めた情報発信						
					白髪山・工石山観光のPR	
受入体制(白髪山・工石山)の整備(ハード) ベンチ・案内版等の補修						
						
ガイドの養成研修・スキルアップ研修の実施						
					民間企業と連携した誘客	
白髪山・工石山観光のPR						

修正項目(案)

【嶺北地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
20 さめうら湖の活用をはじめとしたスポーツツーリズムの振興 《嶺北地域全域》	早明浦ダムでのスポーツフィッシング大会の開催や、湖面を活用したウォータースポーツなどのアクティビティ等のほか、嶺北地域内の資源と連携し、さめうら湖を核とした交流人口の拡大を図るため、H25年度に組織した「さめうら荘建設検討委員会」の検討を踏まえ、宿泊施設等、湖面一帯の整備を行う。 また、早明浦ダムの湖畔を中心に嶺北地域内でサイクリングコースを設定するとともに、サイクリストの受入環境等を整備する。	・民間事業者(NPO法人さめうらプロジェクト)等 ・土佐町 ・大川村 ・本山町 ・大豊町	アクションプランの取組開始・H21 ・モニターツアーの実施(H22～27) ・スポーツフィッシング大会の開催(H22～27) ・PR活動(H21～27) ・研修会等への参加(H21～27) ・地域(出身)学生等との連携事業(H22～27) ・NPOさめうらプロジェクト設立(H24) ・さめうら湖の利用に関する検討委員会(H23～24) ・さめうら荘建設検討委員会(H25～27) ◆NPOさめうらプロジェクトを中心に、さめうら湖を利用した交流事業等が模索され、地域(出身)学生との連携や各種利用メニューなど、一定のかたちが出てきている。しかし、湖面でのアクティビティについては実施コストの高さや、気象条件等により安定した湖面利用が難しいことなどから、本格的な事業化には課題が多い。 H26には活動フィールドの拡大に向け、さめうら湖畔でのロードバイクの取組を開始した。高知工科大サイクリング部等とも連携し、モニター大会を開催するなど、一定の成果が上がっている。 ◆土佐町ではH23から、さめうら湖の利用に関する検討委員会が開催され、水をキーワードにした観光振興案が示された。H25からは新たに、さめうら荘建設検討委員会が組織され、上記観光振興の具体化とさめうら荘の改修について検討が進められている。 H26には検討委員会の答申がまとめられ、それを踏まえた改修設計案が出されたが、財源の確保等課題も多く、慎重に検討を進めていく予定である。	・嶺北内町村の連携による事業の展開 ・年間を通して利用者が訪れる取組の構築 ・地域経済へ波及効果が生まれる仕組みづくり	◆さめうら荘建設検討委員会等・早明浦湖を核とした交流人口の拡大及び環境整備(さめうら荘の改修等)  ◆嶺北地域におけるサイクリングを通じた交流人口拡大の取組

修正前



【嶺北地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
20 さめうら湖の活用をはじめとしたスポーツツーリズムの振興 《嶺北地域全域》	早明浦ダムでのスポーツフィッシング大会の開催や、湖面を活用したウォータースポーツなどのアクティビティ等のほか、嶺北地域内の資源と連携し、さめうら湖を核とした交流人口の拡大を図るため、H25年度に組織した「さめうら荘建設検討委員会」の検討を踏まえ、宿泊施設等、湖面一帯の整備を行う。 また、早明浦ダムの湖畔を中心に嶺北地域内でサイクリングコースを設定するとともに、サイクリストの受入環境等を整備する。	・民間事業者(NPO法人さめうらプロジェクト)等 ・土佐町 ・大川村 ・本山町 ・大豊町	アクションプランの取組開始・H21 ・モニターツアーの実施(H22～28) ・スポーツフィッシング大会の開催(H22～28) ・PR活動(H21～28) ・研修会等への参加(H21～28) ・地域(出身)学生等との連携事業(H22～28) ・NPOさめうらプロジェクト設立(H24) ・さめうら湖の利用に関する検討委員会(H23～24) ・さめうら荘建設検討委員会(H25～28) ◆NPOさめうらプロジェクトを中心に、さめうら湖を利用した交流事業等が模索され、地域(出身)学生との連携や各種利用メニューなど、一定のかたちが出てきている。しかし、湖面でのアクティビティについては実施コストの高さや、気象条件等により安定した湖面利用が難しいことなどから、本格的な事業化には課題が多い。 H26には活動フィールドの拡大に向け、さめうら湖畔でのロードバイクの取組を開始した。高知工科大サイクリング部等とも連携し、モニター大会を開催するなど、一定の成果が上がっている。 ◆土佐町ではH23から、さめうら湖の利用に関する検討委員会が開催され、水をキーワードにした観光振興案が示された。H25からは新たに、さめうら荘建設検討委員会が組織され、上記観光振興の具体化とさめうら荘の改修について検討が進められている。 H26には検討委員会の答申がまとめられ、それを踏まえた改修設計案が出された。しかしながら、財源の確保等課題も多いことから、H28には役場内に新たにワーキンググループを組織し、H30年度の完成を目指して基本設計案等の検討を進めている。	・嶺北内町村の連携による事業の展開 ・年間を通して利用者が訪れる取組の構築 ・地域経済へ波及効果が生まれる仕組みづくり	◆さめうら荘建設検討委員会等・早明浦湖を核とした交流人口の拡大及び環境整備(さめうら荘の改修等)  ◆嶺北地域におけるサイクリングを通じた交流人口拡大の取組

修正後



第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
<p>さめうら荘建設検討委員会等:さめうら湖を核とした交流人口の拡大及び環境整備(さめうら荘の改修等)</p> <p>検討委員会等による事業内容の検討・選定</p> <p>検討委員会等の検討を踏まえ、さめうら荘の改修等</p> <p>試行事業の実施</p> <p>環境整備</p> <p>さめうら湖を核とした、土佐町観光・交流資源等の一体的活用</p> <p>事業展開</p>					<p>さめうら荘利用者(宿泊・レストラン)数 (H22:2万人) (H26:2万人)</p>	2.5万人	
<p>横北地域におけるサイクリングを通じた交流人口拡大の取組</p> <p>自転車関係者等のネットワーク強化、体制の確立</p> <p>横北地域のサイクリングコース・プランづくり</p> <p>環境整備</p> <p>試行的実施</p> <p>事業展開</p>							



第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
<p>さめうら荘建設検討委員会等:さめうら湖を核とした交流人口の拡大及び環境整備(さめうら荘の改修等)</p> <p>検討委員会等による事業内容の検討・選定</p> <p>検討委員会等の検討を踏まえ、さめうら荘の改修等</p> <p>試行事業の実施</p> <p>環境整備</p> <p>さめうら湖を核とした、土佐町観光・交流資源等の一体的活用</p> <p>事業展開</p> <p>カヌー指導者の招致</p> <p>さめうら湖を活用した合宿等の誘致</p>					<p>さめうら荘利用者(宿泊・レストラン)数 (H22:2万人) (H26:2万人)</p>	2.5万人	
<p>横北地域におけるサイクリングを通じた交流人口拡大の取組</p> <p>自転車関係者等のネットワーク強化、体制の確立</p> <p>横北地域のサイクリングコース・プランづくり</p> <p>環境整備</p> <p>試行的実施</p> <p>事業展開</p>							